

大宮地地区

第5回大宮地川シロウオ祭りを開催

2月11日、はまぼろし群生地駐車場を主会場に「第5回大宮地川シロウオ祭り」を開催し、県内各地から多くの来場者で賑わいました。春の風物詩として知られる旬のシロウオを「見て、触れて、食べる。大宮地で



シロウオすくいっばい捕るぞ!



四つ手網漁楽しいよ!

しか味わえない体験」を合い言葉に地元シロウオ漁組合協力のもと、昔ながらの「四つ手網」を使った漁体験。シロウオの踊り食いやかき揚げ丼、吸い物そして特産品などのバザーも催され、来場者は、新和の春の味覚を楽しみました。参加者は、「生きたシロウオは初体験でドキドキでした。来年もまた来ます」と話していました。



優しい光で包み込む-大宮地八幡宮

地域おこし協力隊だより



地域おこし協力隊の北野です。年末年始にかけて、はまぼろし群生地駐車場と大宮地八幡宮境内に「竹灯籠イルミネーション展示」が行われました。これは地域住民が集い、地域の活性化につなげるために大宮地地区の若人10人による地域おこしグループ「大宮地竹灯籠組合」が主催したものです。昨年11月から制作をはじめ、12月21日に点灯式も開催され、新和の夜を幻想的な光が優しく照らしました。

中田地区

「女性の交流会」

11月17日、女性の交流会を開催しました。

振興会が今年から新規に始めた事業で「女性で集まり、スポーツや食事を楽しみ、色々おしゃべりしましょう」と地区内の女性を対象に参加者を募りました。初の試みに33名が参加し、グラウンドゴルフ大会や食事を会しての交流会、お楽しみ抽選会で親交を深めました。

参加者へのアンケート結果を参考に、今後も女性の皆さんが楽しく、興味がもてるような内容を計画していきます。



おしゃべりしながら楽しんでます

神掛けの滝 登山道周辺を整備

大宮地地区振興会では、本市まちづくりチャレンジ支援交付金を活用して、大宮地浪床地区の「神掛けの滝登山道周辺整備事業」に着手し、登山道整備や看板設置などを行いました。この事業により大宮地地区の観光資源を保全し、PRを行い活性化の第一歩へと繋げて、多くの観光客に訪れてもらえるように取り組んでいきます。皆さんも「神掛けの滝」へ足を運んでみませんか。



景観に配慮した看板です

大多尾地区

第3回 鍋割山ウォーク開催

2月24日、大多尾のシンボルである鍋割山(標高243m)の山頂を目指す「第3回鍋割山ウォーク」を開催しました。これは、海・山を活かしたうるおいのある大多尾づくりを目標とする大多尾地区振興会が、自然の良さを体感してもらおうと登山道を整備して開催しているものです。「鍋割のふもと」からスタートし、それぞれのペースで山頂を目指しました。参加者やスタッフを含めて総勢20人で



よか景色をバックに一枚!

宮南地区

ニホンヒキガエル講演会を開催

2月22日、宮南地区コミュニティセンターで、Amakusa KAREU Lab 代表の富崎凛さんを講師に招き、ニホンヒキガエルの講演

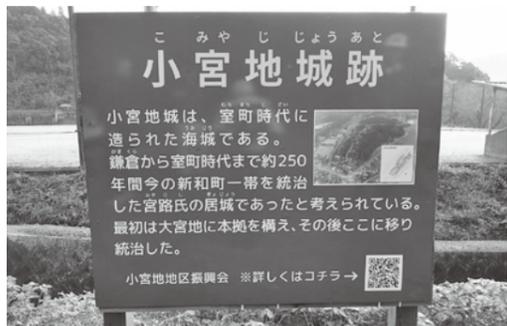


カエルの着ぐるみ「いいね!」富崎さん

会を開催しました。富崎さんは、小学校の時から竜洞山でニホンヒキガエルの調査研究をしている若き環境活動家です。講演会では、準絶滅危種に指定されているニホンヒキガエルの生態、環境保全の重要性などを話されました。竜洞山で観察会も行われ、宮南地区が有数のニホンヒキガエルの生息地ということに地元の人々も驚かされていました。

小宮地地区

新しくなった「小宮地地区名所看板」!



写真入りで流行りのQRコードも付いてますよ

11月10日、小宮地地区内の文化的名所看板の建て替えを行いました。これは、同地区内の文化財を知ってもらおうと10年前に名所看板を建てていましたが、老朽化が目立ち始めましたので、同地区振興会の文化交流部会にて建て替え作業を実施したものです。新しい看板にはQRコードも入り、新「名所看板」に生まれ変わりました。皆さん、ぜひご覧ください。

碓石ふるさと祭り

を開催

第42回ふるさと祭りが、12月1日碓石地区コミュニティセンター周辺で開催し、会場周辺は約500人の人出で賑わいました。

赤ちゃんの土俵入りでは、6人の元気な赤ちゃんが参加。自作の化粧まわしをつけた赤ちゃんが地元力士に抱かれて土俵入りする姿は、会場を沸かせました。また、大根収穫祭では、大人子ども関係なく我れ先に!と大根を袋に詰め込む姿も見られるなど大盛況でした。



どれを抜こうかな!?

「碓石ふるさと祭り実行委員会」が地域づくり表彰の「優秀賞」を受賞しました。これは、天草市まちづくり協議会連絡会が、他の見本となる地域づくりに取り組む団体を表彰するもので、「山の神奉納相撲」や「大根収穫祭」など碓石地区独自の催しで、昭和54年から続く伝統ある祭りに地区住民が一丸となった取り組みが評価され、今回の受賞となりました。



表彰を受ける実行委員長の落合正孝さん